

2010年9月24日

肝癌の治療

大阪市立大学肝胆膵内科
萩原淳司



肝癌の新しい治療

ソラフェニブは
手術、局所治療、肝動脈塞栓療法の適応のない
進行肝細胞癌で効果が科学的に認められた
最初で且つ、今のところ唯一の抗がん剤
世界で標準的に用いられている

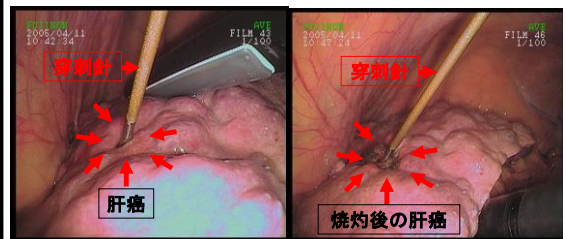


2009年5月20日に保険承認され
日本でも使えるようになった

肝細胞癌の治療法

- 1) 肝切除 (外科)
- 2) 局所療法
エタノール注入療法 (PEIT)
マイクロ波凝固療法 (MCT)
ラジオ波熱凝固療法 (RFA)
- 3) 経動脈的治療
肝動脈塞栓療法 (TACE)
肝動注化学療法 (TAI)
- 4) 全身化学療法 (ソラフェニブ)
- 5) 放射線療法 (放射線科)
- 6) 肝移植 (外科)

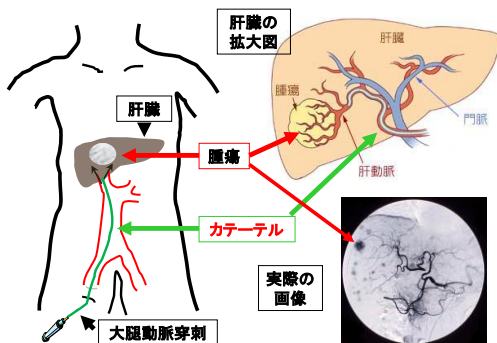
局所療法(RFA, MCT, PEIT)



施行前

施行後

経カテーテル的肝動脈塞栓術



ソラフェニブ(ネクサバール™)

癌細胞の増殖抑制

血管増生阻害



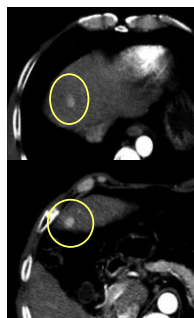
ソラフェニブの内服方法

ソラフェニブ[商品名:ネクサパール](200mg)
1回2錠を1日2回 10時と22時に内服

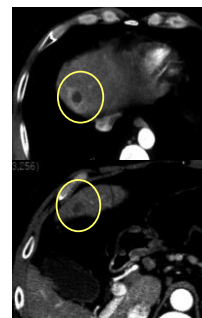
朝夕食後や朝食後と睡前などで内服可であるが、
高脂肪食を避ける必要がある。



ソラフェニブ奏功例



治療前



治療後

Furuse et al., 2008.

高頻度の副作用

・手足皮膚反応	55%
・脱毛	37%
・下痢	35%
・高血圧	28%

**副作用対策が重要です。
しっかり予防と対処を行っていく。**

ソラフェニブの副作用 (手足皮膚反応)

対処法や予防法をしなかった症例



対処法や予防法があります。
少しでも異変を感じたら医師、薬剤師、看護師に相談して下さい。

ソラフェニブの副作用 (手足皮膚反応)



単なる手荒れや皸切れ(あかぎれ)と自分で判断せず、
少しでも異変を感じたら医師、薬剤師、看護師に相談して下さい。

手足皮膚反応・皮疹への対処法 (予防が大切)

少しでも気になることがあったら
医師、看護師、薬剤師に相談

手足皮膚反応・皮疹への対処法
(予防が大切)



保湿剤:

ケラチナミン軟膏
ウレパール
ワセリン



ステロイド軟膏:

マイザー軟膏
アンテベート軟膏

クリーム、軟膏の使用

手足皮膚反応・皮疹への対処法
(予防が大切)



窮屈な靴の禁止
靴下の着用

手足皮膚反応・皮疹への対処法
(予防が大切)



手に負担をかけない
手袋の着用

手足皮膚反応・皮疹への対処法
(予防が大切)



熱い湯や洗物の禁止
手袋の着用

手足皮膚反応・皮疹への対処法
(予防が大切)



直射日光を避ける
日傘の使用

手足皮膚反応・皮疹への対処法
(予防が大切)

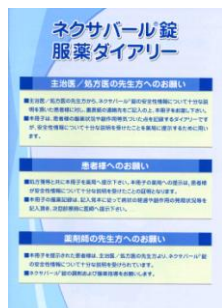


熱いお湯での入浴の禁止
冷水浴が良い場合がある

バイエル薬品提供資料



服用ハンドブック



服薬ダイアリー

高額医療について

1ヶ月の医療費 **約60万円**

3割負担の場合 **約18万円**

高額医療を申請すると

本人負担額は約9万円

受理までに3ヶ月程度かかるので直ぐに申請

肝臓治療のまとめ

手術、局所治療、TACE、ソラフェニブなどを施行。

ソラフェニブは**進行肝臓**に対する**標準的治療薬**。

ソラフェニブは、副作用対策と予防が重要。